

## 1. 短期展望

(p. 1)

- ①[8月8日米FRB利上げせず]
- ②[時給上昇、人手不足]
- ③[ソニー、トヨタ等日本製造業に広がる欠陥]
- ④[農中、米金融持ち株会社(FCH)認可一番乗りへ]

## 2. 展望①：石油問題の真実

(p. 5)

再びバカバカしい妄言が世をさわがせている。「石油の埋蔵量は限られている。石油は枯渇しつつある。もう石油には頼れない」といった類の虚言である。石油価格の急騰に煽られる形で、こういった“理論”が世界的に流布されて来た。結論から言えば、コンピューターの「2000年問題」と同様の、全くのナンセンスである。

## 3. 展望②：国内情勢展望

(p. 8)

- ①[安倍新政権と日本版CIA構想]

「安倍新政権」の誕生が確実視されている。安倍氏が政権構想の目玉としているのが「日本版CIA」構想である。わが国の「対外情報機関」はアメリカの了解もあり、イギリスMI6の手で訓練、養成されることになった模様だ。

- ②[退任後の小泉首相と米エネルギー戦略]

小泉首相は、6月末の訪米時、米エネルギー企業グループから退任後、彼らの秘密アドバイザー(エージェント)就任を要請され、これを受諾した模様だ。退任後の小泉氏の活動を担保するため、安倍氏は飯島首相秘書官を、内閣参与ないし首相補佐官といった形で残留させるつもりのようなのだ。

## 4. 展望③：日本の対中央アジア戦略検証(下)

(p. 11)

今回、小泉首相は中央アジアでウラン外交を展開するという。先日勃発したロシア国境警備隊による日本漁船の銃撃・拿捕事件は、この小泉首相の動きと密接に関係している可能性が高い。